

# 介護部会 県央ブロック会議 報告書

実施日 平成30年 9月 12日(水) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 葵の園・大和  
葵の園大和 さつきの里あつぎ 福寿会 しょうじゅの里  
さくらプラザ こまち えびな アゼリア さがみ  
参加人数 9施設 13名 参加

議事項目 業務の流れと人員配置について

## 内容

A施設: 最近は食事介助者が増えた為、通常の人員配置では手が回らず、早番を1名増やして対応している。食事は外部に委託しているので食事時間をずらすことは難しい。認知棟は特に介助者が多いので、NSも手が空くと認知棟に集まり総動員で食介を行っている。入浴は週6日、午後を実施。午前は入所の受け入れ等の時間として送り電子化している為、入力しきれなかった事柄に関してのみ申し送ることで時間を短縮している。

B施設: 在宅復帰予定の方が多く居住している階はあまり手がかからない為、人員は少なめ、休憩回しの時は他の階の職員を呼んで回している。人員不足は慢性的である。入浴は午前に行く。通所の方も一緒に入る為、入浴にあてる人員は厚くしている。午後はレクを行い、胃瘻の方も含めほぼ全員が参加するようにしている。入所時間は特に決まっておらず、利用者に合わせた時間に受け入れをしている。

C施設: 介護職員に加え、間接的な介助を行うパートを採用している。コップやごみの回収、浴室準備や入浴衣類の準備などを行っている。入浴は浴室が1か所しかない為、入所も通所も一緒に回している。通所は午後にレクがあるので優先的に行うが、相互に協力している。認知症状の強い方とは時間をずらすなど配慮が必要だが、通所と入所が一緒に入浴する事で問題は起きていない。

D施設: 入浴専門職員が4名、リネン専門の職員を4名採用している。食介者が多いので、7～9時の食介専門職員もいる。

入浴は9時から開始しているが浴室が1か所のみで、1時間で清掃まで済ませて通所に渡すことになっているので非常に慌ただしくなっている。残った人は午後1:30～4:00に行っている。レクは演芸や合唱などがあり、お誕生日会とお楽しみ会が月1回ずつ行われる。入所は先方の都合によるが大体10時頃から。

E施設: 通常職員とは別に、生活介護員が2名在籍。居室やトイレの消毒、シーツ交換や入浴準備を担当している。2～4階が居住フロアになっているがフロアの固定はしておらず1週間程前に主任が割り振りをする。食事は1階でとる事になっており、EVで全員を誘導する時間がネックとなっていたが、2階の利用者は2階で食事をするようになり余裕がもてるようになった。入所の時間は固定ではなく、午後に入所があるとレクが行えないこともある。また入所者のADLがインテークの情報と違う時は、階異動することもある。

F施設: 現在外国籍の学生さんが2名おり、シーツ交換等の補助業務を行っている。学校の時間によっては介助のヘルプに入ってもらうこともある。認知棟と一般棟で1日の流れはほとんど同じだが、認知棟ではおやつ後から夕方まで体を動かすレクなどして不穏を抑えるようにしている。一般棟はおやつ後は自由に過ごしていただく。入浴は午前が早番、午後は遅番が担当している。各階に浴室があるので誘導はスムーズに行える。入退所は午後2時頃が主で、病院から来られる方は午前中の受入れが多い。相手方の都合によってはレクができないこともある。委員会は日勤終わりに時間外で行っている。

G施設: 午前番(9時～13時)の職員が増えてきているので、パートさんに13時～の勤務をお願いして人数の調整をしている。

入浴は週4回、出来るだけ午前中に終わらせ、午後はリネン交換や入浴準備をする。浴室は3か所あり通所と入所は完全に分けている。認知と一般はフロアを分けておらず、トラブルやクレームがあったら居室を離すなどして対応している。また他者への迷惑行為がある方は極力とらないようにしている。最近では食介者が増えており早だし対応している。

H施設: 入浴は週6日行っている。入浴専門の職員もおり、午前に35名程度を回している。通所は午後に入浴。入退所の時間は決まっていない

が、送迎があると多少の制限あり。主に相談員が対応している。

## フリートーク

### ○介護ロボットについて

- 色々な種類があるが、どんなものでも使用に時間がかかるものは定着しづらい。おすすめの介護ロボットは？
- ・毎年10台ずつベッドを入れ替えている。新しいものは高さを調節するスピードが速く、高さ調節をしてから移乗するようになり腰への負担が軽減された。
- ・シルエットセンサーを使用している。シルエット画像で利用者の動きが観察出来る為、ベッドから立ち上がるまでいかない利用者にも有用。
- ・自転車をこぎながら問題を解くリハビリ用介護ロボットもある。
- ・話しかけると反応が返ってくる人形は認知症の利用者にも好評。
- ・マッスルスーツ→使用環境に制限があり、着脱にも時間が掛かるためすぐに使われなくなってしまった。
- ・眠りの深さがわかるセンサーマット。眠りが浅くなった時をみてトイレ誘導を行う事で、起き出しを未然に防ぐ事ができる。

### ○職員の更正について

- 利用者に対して不適切なケアをする職員。何度注意しても一定期間が過ぎると再発してしまう。どのように関わるべき？
- ・月2回の面談を行っている。落ち着くまで人目につかない夜勤は外す。
- ・苦情があったので本人に直接注意をしたら、そのことが原因か不明だがその後退職した。
- ・まず事実確認を行う。その後面談、必要であればフロア移動し、改善されなければ非常勤に降格とする処置をとった。

### ○転倒について

- 最近転倒件数が増えており、他施設での予防策を知りたい。
- ・夕食後や起床時の、人員が少なく慌ただしい時間は危険度が高い。
- ・リスクの高い人はNSと連携してフロアで見守りを行う。
- ・センサー類は多すぎるとそれに頼り過ぎてしまう職員もいる。また同時に鳴った時の優先度をとっさに判断できず混乱することも。
- ・骨折予防パンツ→大腿部や臀部にクッションが入ったパンツ。
- ・睡眠・行動パターンを把握することが肝要。起きる順番を工夫。

次回開催日 12月12日(水) 14:00～ しょうじゅの里にて  
議事項目『接遇について』